

令和4年度総合教育会議会議録（要旨）

- 開催日時 令和4年10月31日（月）午後3時00分～4時00分
- 開催場所 本庁舎2階会議室
- 出席者 藤原淳（市長）、鳩岡矩雄（教育長）、槻館行男（教育委員）、菅原ゆかり（教育委員）、佐々木千穂（教育委員）、荒谷直大（教育委員）
- 事務局職員 千葉守（教育部長）立花幸博（副部長兼教育企画課長）、坂本真（学力向上推進監）、佐藤功也（生涯学習課長）、清水明博（文化財課長）、土屋美由紀（図書館長）、三浦めぐみ（給食センター所長）、泉山茂利樹（総合政策部長）、古舘晶（政策推進課長）、高山英人（教育企画課副主幹兼教育企画係長）

1 開 会

（千葉教育部長）

本日の会議の進行を務めます教育部長の千葉でございます。

ただいまから、令和4年度二戸市総合教育会議を開会いたします。

なお、本日の会議終了時刻は4時00分ごろを予定しております。

本日の会議は、市長部局から、泉山総合政策部長と古舘政策推進課長が出席しております。教育委員会事務局からは、立花副部長兼教育企画課長、坂本学力向上推進監、佐藤生涯学習課長、清水文化財課長、土屋図書館長、三浦学校給食センター所長が出席しております。また、教育企画課から高山副主幹が同席しております。

それでは、次第に沿って進めてまいります。

はじめに、藤原市長から、あいさつをお願いいたします。

2 あいさつ

（藤原市長）

こんにちは。本日は大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。また、日頃より教育行政については、教育長を中心に教育委員の皆様のおかげで、順調に進んでいると感じているところであります。一般的に見ますと少子高齢化を背景といたしまして、不登校あるいはいじめについて新聞等でも記事がでておりますが、今はコロナ、DX、ICTなど、大きな転換期にあるのではないかと感じております。二戸市におきましても、節目と申しますか田中舘愛橘没後70年、相馬大作没後200年といった大きな事業がありますが、先般、田中舘愛橘博士のイベントでは小原先生にお越しいただき、高校生等にすばらしいご講演をいただいておりますし、九戸城跡においても、先般見学させていただいたところ、本丸、二の丸等も出来上がっており安心しているところでございます。また、一方ではコロナの影響により学級閉鎖や休校となり学校もありましたが、コロナの影響下において、教育施設の改修等については、文化会館など施設や設備について充実してきたと思います。公民館におきましても長嶺の公民館を廃止しまして、石切所に集約し

て、これを公民館にするのか、また、コミュニティセンターにするためにはどうしたらよいかという課題を抱えながら進めているところです。このほか、ソフト面について、日展で高田啓介さん、菅原ゆかりさんが入賞されたということで心よりお祝いを申し上げます。本日は今年度及び今後の主な事業について、皆さんに様々なご意見を賜ればと思っていますのでございますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(千葉教育部長)

ありがとうございます。

続きまして、鳩岡教育長から、あいさつをお願いいたします。

(鳩岡教育長)

年に1度の総合教育会議でございますけれども、本日は市長と率直に意見交換いたしまして二戸の教育振興の糧になりますようお願いを申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 議 題

(千葉教育部長)

ここからは、藤原市長に議長をお願いいたします。

(藤原市長)

それでは、最初に、「今年度及び今後の主な教育事業等について」に入ります。事務局からすべての説明のあとにご意見等をいただきたいと思います。説明をお願いします。

(千葉教育部長)

それでは、今年度の主な事業の概要を説明申し上げます。

(中略)

以上で説明を終わります。

引き続き、各課長から事業の詳細について説明いたします。

(立花副部長兼教育企画課長)

「1 学校教育の充実について」説明申し上げます。

(中略)

以上で説明を終わります。

(佐藤生涯学習課長)

「2 社会教育の充実について」、説明申し上げます。

(中略)

以上で説明を終わります。

(清水文化財課長)

「3 文化財の保存の活用について」、説明申し上げます。

(中略)

以上で説明を終わります。

(藤原市長)

説明が終わりました。

非常に中身の濃い報告でございました。皆様からご質問ご意見等を伺いたいと思います。

(槻館教育委員)

教育企画課の来年度の取り組みとして教育環境の整備について、石切所小学校の道路が変わり公民館が新しくできて、今までと違った景観となっている中、石切所小学校の校舎は不自由だろうなと思っています。施設の老朽化があり早めに良い環境で学習させてあげられないものかと時々考えております。今後の見通しについて、具体的に計画されているものがあればお話いただければありがたいのですが。

(立花教育企画課長)

今後の見通しですが、具体的な見通しについては整理がついている状況ではございません。ただし、先ほどお話しましたとおり体育館につきましては、以前から老朽化について言われておりますし、あるいは校舎につきましても、かなりの年数が経過している状況です。校舎についても川を挟んで校舎が立っている状況にもなっておりますし、あるいは、現在入居しているみたけ支援学校の分教室も、新たに工業高校の敷地内に整備される状況もありますので、様々要素を整理しまして、そのうえでどのような整備が必要なのか、全体的に整備しなければならないのか、あるいは体育館だけの整備でいいのかを、来年度から整理していきたいと考えております。そして、先ほどお話したように、令和7年度が市の総合計画の最終年になっておりますので、そこまでには整備の方向性を整理することを目指して進めてまいりたいと考えております。

(鳩岡教育長)

この件については、市長も一番心を痛めておられることなのですが、荒谷委員はどうでしょうか。総合政策部長もいますのでご意見をお願いいたします。

(荒谷委員)

先日、学習発表会が行われましたが、コロナ対策もあって市民文化会館を使用したところですが、本当は学校でやるのが一番なのかなと感じているところでもあります。そのところを含めながら考えていただければと思います。

(藤原市長)

教育長と時々話をするのですが、この件について気にしています。教育施設全般につい

ても、たとえば歴史民俗資料館をどうしたらよいのか、武道館をどうしたらいいのだろうか、また、各施設の修理をしておりますが、市民文化会館は40年を経過していますので、お金がかかることが出てきております。このような時に、市役所の内部でもそうですが、設計業者にすべてをお願いしたり、コンサル業者に任せるのではなく、ここをどのようにしたらよいのかを考えることを大切にしております。本当はソフトを先行させながら、それに基づいてハードを整備するというのが一番良いというやり方で、石切所小学校についても、例えば歴史民俗資料館など子供に関わるものであれば、最初にもってこななければなりませんし、お陰様で支援学校については工業高校敷地に設置が決定されておりますので、それらについてもそのとおりに整備していけばいいのかなと考えております。もう一つ大きなものが、福岡高等学校の建て替えが出てくると思います。毎年、中学生の80人から90人が外の学校に行っていますが、これについては、自分の夢を叶えるために外の学校に行くのはこれでいいと思います。ただ、施設の中で小学校、中学校の児童生徒で水洗トイレが古いとかで盛岡に行くというお子さんもいると思うので、高校の施設については整備していく必要があると感じています。それらを含めて優先順位を付けた場合、どれが一番高くなるかといえば石切所小学校になってくるのではないかと考えております。また、浄法寺では収蔵庫の活用について、これを移転するのに1億から2億円かかると話があったのですが、そのぐらいかかるのであれば移転する必要はない。今あるものにブルーシートをかけてそれでよい。今、文化庁の日本遺産を申請して、安比川流域漆物語と名をつけて展開していますが、それをもって外からお客様を連れてくるにはどうしたよいのか。今日の新聞にも載っていましたが寂聴先生の天台寺をこれからどうしていけばいいのか。9億円をかけて改修したところを、どう活かしながらお客様を呼んで来るのかということを考えれば、何をやらなければならないのかは自ずと出てくると思います。確かに中長期的ベースから行けば、あるものを移転してそこを改修するやり方はあると思いますが、できるだけ金をかけないようにしながら、施設の役割を補充していくというのがこれからの建物のやり方ではないかと思っております。新しいものを建てるだけではなく、このように進めること基本として考えています。脱線しましたが石切所小学校については、重要なことと思っております。

(鳩岡教育長)

これは市教委として市長部局に御礼を申し上げなければならないのですが、営繕の人たちに非常によくやってもらっていることです。ちょっとした修繕でもすぐに対応してもらいペンキを塗ったり、考えられる状況の中ですぐにやっていただいているということで日頃から営繕の皆様には感謝しているところであります。これからもよろしく願い申し上げます。ありがとうございました。

(菅原委員)

今、市長から箱ものを作らないで、できればそのお金を色々なところに回したいというお考えを聞いて大変うれしく感じました。それで、確かに箱があるというのは見栄えもいいですしお客様を呼ぶにも良い部分はあるのかなと思ったりしますが、いずれ学校にして

もそうですが、そこだけで終わるような施設、建ててもうこれで終わりということではなく、それが様々な教育的素材としてもそうですし、観光的素材としてもいいですし、そういうものが交流して初めて活かされると思います。観光でも教育委員会の皆様は一生懸命やっただけの話は聞かされていますが、学力とか人間力の技術というものをすごく一生懸命上げてくださっているなと思います。それがこれからはコミュニティスクールということになって行くのでしょうけれども、普通の市民ともうちょっと交流、交流というかそこで子供たちが学ぶことが多いと思いますし、学校という密室におかないで、人の目にさらさせることによって、ちょっとしたいざこざとかがつまらないものだと、もっと楽しいこと違うことを考えようといった取り組みが今後必要になってくると思います。これからコミュニティスクールを実践していかなければならないと思いますが、そこにもう少し踏み込んで、ただやらなければいけないというのではなく踏み込んでいただければいいなと思います。

(鳩岡教育長)

大変重要なお指摘をいただいたと思います。仁左平小学校が先導的にやっただけではありますが、お助け隊募集ということで仁左平地区に声をかけたところみんな手を挙げてくださって、草刈りは任せろとか、作物は俺に任せろという、住民自らが手を挙げていただいて、いい雰囲気になりつつあります。御返地は昔から伝統的にそのような取り組みをやっただけです。これが全域に広がれば、良くなっていけばコミュニティスクールよりも浸透すると思っております。

(藤原市長)

いずれハードは目的ではなく、それを使ってどのようにしていくか捉えなければならぬと思っておりますので、これまで槻陰舎きぼう塾とか、グラスゴー研修とかで中学校高校で広い視野で物事を判断できるようになっていければ将来、例えば生きる力とか生きる知恵など菅原委員がおっしゃったとおり、それを身に着けるためにはどうすればよいかというところに力を入れていかなければならないと、それが一番できるのは教育というよりも行政のハードを使って環境を整えていくことが必要だと思っておりますので、小さく建物を建てます、これをやりますではなく、大きく九戸城の本丸、二の丸を整備したのであれば、エントランス広場脇に長嶺から歴史民俗資料館を整備して、裁判所通りではなく九戸城通りにして、人であれば田中館愛橘先生など人を見せるようなことをやっていけば、萩のような歴史を動かしたというか、その時々に関わりを持った人たちがそこにいると思うので、そのようにすれば槻陰舎きぼう塾も目が出てくるのかなと未来の人たちが考えていただければと思います。ありがとうございました。

4 報告

(藤原市長)

次に「報告」の説明願います。

(千葉教育部長)

(説明 略)

(鳩岡教育長)

ケア児について、該当の児童は小学校3年生の時に教室で倒れまして、なぜ倒れたのかというのはよくわからないのですが、それで救急車で運ばれたのですが、そのまま歩けなくなり、車いすになったのですが、親のショックは計り知れない、昨日まで歩いていて訳ですので、本当に大変だったと思います。その後、八戸の養護学校に転校いたしました。そして1年経った訳ですがどうしても中央小学校のお友達と勉強したいという本人の希望が強く、親からの希望もあり中央小学校で再度学んでもらうことにした訳ですが、問題は人もいない施設もない、設備もないということで、これについて市で予算を付けていただいて、大変ありがたく思っております。中でも人の面でいえば、一番ネックになったのが、看護師が見つからないということで、ギリギリまで困ったわけです。看護師がいないことでどうしようかと思ったのですが、何が幸いするのかわからないものでございまして、看護師2名が急遽、本庁勤務になってですね、それで兼務で中央小学校に行ってももらうことになったということで、話が前に進んで現在の状況になったというものです。先ほどのふるさと探訪塾でも、子供たちと一緒に天台寺を訪れて親御さんは本当にありがたいと子供も喜んでおりましたということで、いろいろな面で協力を得ながらここに至っております。ありがたく思っております。

(藤原市長)

校務支援システムについては何か問題があるのですか。このまま進めて大丈夫なのか。

(立花教育企画課長)

校務型支援システムにつきましては、教職員の働き方改革にもつながるもので、事務負担が大きい部分を、システムを使うことによって効率的に使うことができる、また全県で使えるということで異動しても同じシステムを使えることから、県内全市町村で導入しようとしているところでございます。運用にあたっては、予算等は必要になってくるわけですが、令和6年度に向けて来年度から準備を進めていきたいということでございます。

(藤原市長)

皆様からご意見等ありましたらどうぞ。

〈「なし」の声あり〉

(藤原市長)

報告について、異議なければこれでよろしいでしょうか。それではその他ですが、何か事務局ありますか。

(千葉教育部長)

事務局からは特にございません。

(藤原市長)

それでは皆様からどうぞ。

通学路の確保につきましては、国体道路から上がってくる道路の角の秋葉神社入口付近が拡幅になります。そうすると残りは、NTT 脇から福岡高校に上がっていく道路が残っている状況です。その他の道路については金田一小学校の道路側溝も入れ替えて歩きやすいようになったと思います。

(鳩岡教育長)

部長副部長会議でも、いつも問題にしているところですが、三幸堂の坂は小中高校生が通りますので、あの坂だけは、いの一番に除雪と排雪をお願いします。除雪しても脇に盛り上げるとどうにもなりませんので、朝一で除雪はやっておりますが、排雪まではいかないということで、ぜひ優先的にお願いしたいと思います。

槻館委員は、小中とあの坂を若い時からご覧になっているわけですので、温故知新ではありませんが、いろいろ進んでいるけど、これだけは忘れないでほしいということがありましたらご提言いただければと思います。

(槻館委員)

ここでいうべきではないと思いながらいたわけですが、すいぶん学力も上がってきており、学校を支える教育委員会もそうですし、いろいろな要素で上がってきていると思いますが。でも基本は家庭がすごく大きいなと今でも思います。問題行動もそうですし、いじめ、不登校の方にも関わっていると思います。その家庭教育はどこからくるかという、大きいのは経済環境だと思います。それがネックで子供に手をかけることができなかつたりという部分もあるので、そういう意味で二戸市の働く親世代の経済基盤がしっかりしてほしいなというところがあります。少しでも働く世代の人たちが安心して働けるようなまちになればと感じております。

(鳩岡教育長)

まさに総合教育会議にふさわしい意見だと思います。ありがとうございます。ぜひ市長からご発言いただければと思います。

(藤原市長)

二戸を出て大学に入って、二戸に帰ってくる時に自分の目指す職がないというのが実情で、人口の推移を見ても社会的減少というのは 18 歳から 22 から 23 歳の部分に穴が開いています。出て行っても帰ってくるところがなければ、人口減少につながるということが実情だと思います。でも I ターン、U ターンでもそうですが、やはりここで所得を得ることができるような職場を作っていくということが本当の自分たちの目指す姿で、今の民間企業でもそうですが、ただ、東京など大都会ほど所得を上げることはできませんが、故郷

がいいと思うような環境づくりをしていかなければならないと思っています。目指すのは何でもそうですが、農業は所得の上がる農業を目指すということで、よく荒谷委員のところでもやっていますが、りんごを作ってもきゅうり作っても米を作っても漆を搔いてもいいですが、子供を大学まで入れるぐらいの所得を上げていかなければならない。そのためには何と何を組み合わせれば所得が上がっていくのか、そこを考えていくのが市役所であったり県であったり農協とかの役割だと思っているのでそこに力を入れております。例えば農協を退職した職員がいれば、市に入れて、どのようにすれば高いりんごを作ることができるか、高いキュウリをつくれるのかといったことを。よく皆様から跡継ぎがないといわれますが、所得がないから跡を継がないのです。所得があれば跡を継いで俺はこれでがんばるといようなことになるので、そのようなことを考えて、所得向上に取り組んでいかなければならないなと強く思っています。そのためにも、今あるものに更に磨きをかけながら、観光でもそうですが地元の中にあるものに磨きをかけて天台寺や九戸城跡を盛り上げていくとか、金田一温泉のカダルテラスにお客さんが来るとか、今あるものに磨きをかけて、それができたのであれば、南部美人のように売れる商品づくりをしていけば酒米を作る人たちも伸びてくるという流れで回ってくるのではないかと考えているところであります。今度荒谷委員たちが目指しているのは3個で11万円のりんごを売るということで、どうすれば3個で11万円のりんごが売れるのとなりますが、若い人たちは一所懸命、漆器を作ったりりんごを食べた後その器も使える、これを11万円ですということ、自信を持ってやっています。懐に金が入って所得が上がるということが教訓だと思います。この他、他と比べて教育長がやっていることで、すごいなと思うことは、東京学芸大学との交流で話を聞くと、二戸は他と比べてレベルが高いと思います。生活保護になる率も高いようなので極力様々な施策を講じていこうと思いますし、今、生理用品が話題になっていますが、みんなが誰でも取れるようなところに置いたらといった意見もありますが、生理用品を配ることが目的ではなく、そこにつながっていく家庭の貧困を見つけて何とか解決していこうというのが目的なので、保健の先生と話をしながら市とつながりを持ち、保健師など様々な連携を行い経済的な支援をしてまいります。

それではこれでよろしいでしょうか。本日は大変ありがとうございました。本日皆様からいただいたご意見等については市長部局と教育委員会と協議しながら、第三次総合計画に盛り込まなければならないものについては盛り込まなければならないし、ソフトについて初めに取り組みしないとハードに結びつかないというものについては、事前にソフト事業に取り組んでまいりたいと考えております。本日はどうもありがとうございました。事務局にお返しします。

5 閉会

(千葉教育部長)

ありがとうございました。

以上をもちまして令和4年度二戸市総合教育会議を閉会いたします。

委員の皆様、大変ありがとうございました。